■ 暇つぶしの仏像制作

平林　正稔

　70歳になった時,70歳代をいかに楽しく過ごせるかと考え,新しいことに挑戦しようと思い、カルチャースクールに行っていろいろ体験させていただきました。
　結果的に仏像制作を選び、仏教美術協会仏師　岩渕俊亨先生に 2回/月 教えていただくことにしました。
　はやいもので、始めてから10年が過ぎ、24尊体を制作しました。
　今はよい趣味を選んだと感謝しています。

◎ 作品紹介

1　地蔵菩薩立像

2013.03.01～2013.09.20
幅13cm　奥行13cm　高さ33cm
木曽檜材

　この仏像が最初の作品です。
あちこちに、ぎこちなさが出ていますが、作り終えた時の感動は忘れることがないでしょう。
　かなりの部分先生の修正が入っています。

8　四天王　増長天像

2015.09.04～2016.01.15
幅18cm　奥行15cm　高さ45cm
木曽檜材

　仏様を守るために、四角の方角にそれぞれの天部が位置付けられている。
　東　　持国天
　南　　増長天
　西　　広目天
　北　　多聞天
　四天王をすべて彫りました。

9　大日如来坐像

2016.01.29～2017.01.06
幅18cm　奥行18cm　高さ37cm
木曽檜材

　密教の最高位大日如来です。
　宝冠をはじめ飾り物が多く、更に光背・蓮座・台座など 複雑なため、完成までに一年間かかりました。
　しかし途中で挫折せずに最後まで完成することができました。
　その後の糧になっています。.

14　重源上人像

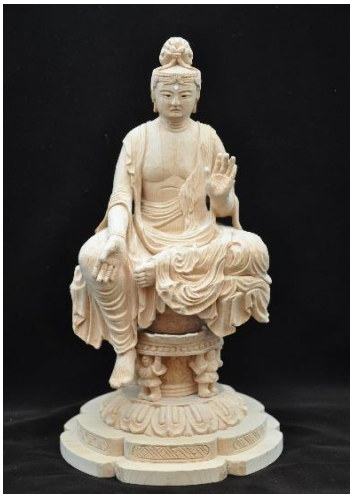
2018.05.18～2018.06.29
幅19cm　奥行15cm　高さ18cm
桂材

　重源上人は平安時代末に東大寺が焼き討ちにあった後、東大寺を再建した僧侶です。
　木像は　仏師快慶によって彫られた国宝です。
　図面はありませんが、正面の写真と実際に見に行ってスケッチして彫った模作です。
　台座は木板にイグサを貼り付けました。

16　中宮寺　弥勒菩薩半跏像

2018.10.05～2019.02.15
幅17cm　奥行17cm　高さ36cm
木曽檜材

　飛鳥時代の最高傑作のひとつと言われている仏像を、身近なものにしようと思い挑戦しました。
　予想外に難しく右手の指先を軽く右頬に触れて思索する姿と、衣をまとっていない上半身には時間をかけて慎重に彫りました。
　少し太めになってしまいました。



17　宝菩提院如意輪観音半跏像

2019.02.05～2019.11.01
幅18cm　奥行18cm　高さ35cm
木曽檜材

　京都の一番小さなお寺　願徳寺　に国宝の美仏がありました。
　全体にブロンズのような光沢があり、顔が引き締まった魅力ある仏像で、彫ってみたくなり、無謀にも挑戦しました。
　お顔は優しくなってしまい、とても本物とは異質なものになってしまいました。

18　寿老人像

2019.11.15～2020.01.31
幅18cm　奥行18cm　高さ32cm
楠材

　仏師岩松拾文先生の父上が彫ったという七福神の写真を送っていただき彫りました。
　とてもやさしいお顔になって満足しています。
　檜材でなく朽ちた色合いの楠材を使ってみました。
　目元と髭を丁寧に彫りました。杖は流木を使いましたが、先生からは邪道だと言われました。

20　不動明王像

2020.03.20～2020.07.17
幅21cm　奥行17cm　高さ54cm
楠材

恐ろしい表情であることが特徴です。
険しく人々を見つめている目は、天と地の隅々までを見守っているとのことです。
怒りの表情でなくとても慈悲深く、なんとしてでも人々を救おうと考えている姿です。

21　地蔵菩薩坐像

2020.07.17～2021.01.15
幅25cm　奥行25cm　高さ38cm
木曽檜材

地蔵菩薩本体は六波羅蜜寺にある運慶作の模作です。
台座と光背は仏師　松久宗琳さんの娘 松久佳遊のものを真似ました。
宝珠は水晶の宝珠を使用しました。

22　慈母観音菩薩像

2021.01.29～2021.04.02
幅18cm　奥行18cm　高さ37cm
木曽檜材

私は男の子二人ですので、抱いている赤子の慈母観音に、立っている子供を追加しました。
蓮座の花弁は初めて一枚ずつ作って接着しました。
慈母観音の視線の向きを何度も調整しました。

24　普賢菩薩像

2021.8.20～2021.12.17
幅21cm　奥行14cm　高さ34cm
木曽檜材

文殊菩薩とともに諸菩薩の上位にあって釈迦如来の右脇侍、白象に乗った姿で現れる菩薩です。
光背をはじめ細かいところが多く苦労しました。
出来上がってみると存在感があり、飾っておくには良い仏像です。